



『創立60周年記念ライブ』



12/3 (金)、《 じぶん を 生きる 》をテーマに、60周年記念行事「盲目のヴァイオリニスト増田太郎小原田ライブ」が行われました。息をのむほどの美しいヴァイオリンの音色に魅了されたのはもちろん、時折ユーモアをまじえながらのライブ、そして、何より生徒達への熱いメッセージ。多くの生徒が心を揺さぶられた唯一無二の60周年記念ライブでした。この日の体験は間違いなく生徒達の心に深く深く刻みこまれ、きっと「未来を生きる糧」となることでしょう。

感想の抜粋をご紹介します。



- 生のヴァイオリンはテレビとは違って音が響き、驚くほど圧倒されました。あの感動と驚きは生涯忘れることはないと思います。
- 演奏以外で、太郎さんの「人生何が起こるか分からないけど前向きに生きる」という言葉に感動しました。これからくじけそうなことがあったとしても前向きな気持ちで生きていこうと思った。
- 「ぼくにはきみがいる」を聞いているとき、「私には誰がいるかな」と考えました。そうすることで太郎さんの気持ちが少しずつ感じることができました。
- 2年生の「生きる」という群読を聞いて、「今生きていることは当たり前ではなく幸せなこと」ということを心から感じることでできました。これからたくさん困難に出会っても太郎さんのヴァイオリンを思い出して生きていきたいです。
- 生演奏はCDとは違い一つの音が力強く、凜としていて、優しく、そして何よりきれいでした。ライブの楽しい気持ちや興奮を今でも鮮明に思い出します。「生きる」という詩にもなるほどなあと納得したし、温かい音色に思わず聞き入りました。
- ヴァイオリンの演奏は鳥肌が立つという言葉ではおさまらないくらいとても感動しました。手拍子をして太郎さんと音楽を奏でているときは体育館にいる人全員が繋がっているような一体感を楽しむことができました。
- 「生きる」の2年生の群読では、ヴァイオリンの音を聞きながら、家族や仲間、命の大切さについて今まで以上に深く考えることができました。
- 歌声が胸に響きました。ちょっと泣いてしまいました。また、演奏を聴きたいです。
- 私も障害があります。太郎さんのように明るく前向きに生きたいと思います。そしてすてきな出会いを信じてみたいと思います。太郎さんに出会えた今日に感謝です。
- 太郎さんの「人生の枝分かれ」の話はすごく心に残りました。僕は今まで失敗から始まる転落のことばかり考えて挑戦することをためらっていました。「失敗したらだめなやつ」と思われるのではないかと考えてしまっていました。でもこの話を聞いて、失敗してもその後には出会いも別れも何千何万通りの道があって、きっとどんな僕でも信じてついてきてくれる人がいるって心から思えるようになりました。僕はまだ発展途上の未完人間だけど、これからたくさん選択を経て増田さんのような強い人になりたいです。

小学校の先生方が来校しました

12/8 (水)、近隣の小学校の先生方が来校し、1組の体育、2組の英語、3組の国語の授業(右写真)をご覧になりました。小学校を卒業してから約8ヶ月、1年生の成長ぶりを見ていただくととてもよい機会となりました。生徒たちにとってもお世話になった先生方に久しぶりに会えたということでも嬉しかったようです。参観後の小学校の先生方との面談では、「生き生きと活動する姿を見て嬉しかった」「成長した姿に驚いた」などの声が聞かれました。



【第33週の予定】 (12/13～17)

	曜	時程	行事・その他	完全下校
12/13	月	A6	学習コンテスト(数学) 甲状腺検査	18:00
14	火	A6	学習コンテスト(英語) SC来校 郡山女子大附属高校出願	18:00
15	水	A6	学習コンテスト(国語)	18:00
16	木	B6	学校議会	18:00
17	金	A6	1. 2. 3. 4. 月6. 5の順 ウィンタースクール・実力テスト範囲表配付	18:00

